

1月 町を守る消防団員と消防職員が集結

14日 消防出初式を開催



▲三滝川への一斉放水の様子

消防団員と消防職員163人、車両14台が集い、消防出初式を保健福祉センターけやき駐車場で開催しました。出初式では優良消防職団員と関係者の表彰を行い、通常点検と機械器具点検の後、三滝川への一斉放水を実施しました。

表彰者一覧

- 団本部 菰野分団 鷺川原分団 竹永分団 朝上分団 千種分団 湯の山分団 本部分団
- 消防庁長官表彰
元朝上分団分団長▶諸岡久貴 元菰野分団副分団長▶山崎慎吾 元鷺川原分団分団員▶市川勝利
- 三重県消防協会長表彰
【功績章】分団長▶佐藤浩幸【精勤章】副分団長▶河内洋樹【表彰徽章】団員▶生川大、廣田雄亮、宇佐美嘉紀、野崎貴之、山口征紀、小河貴大
- 三重県消防協会北勢支会長表彰
【消防団員表彰】団員▶尾田貴昭、諸岡 涉、丸山大志、前田雄人、藤原優也、平井智也、武田憲和、芝田泰祐
- 菰野町長表彰
【永年勤続章】副分団長▶芝田 篤、増田周吾【精績章】班長▶中村嘉孝【団員】梅田尚斗、石崎裕久、小川翔【精勤章】班長▶谷脇文康【団員】伊藤尚貴、岩本忠士、岩崎勇貴【精勤章】団員▶尾田貴昭、諸岡 涉、丸山大志、前田雄人、藤原優也、平井智也、武田憲和、芝田泰祐
- 【感謝状】元朝上分団分団長▶諸岡久貴 元本部分団分団長▶坂上秀映 元菰野分団副分団長▶山崎慎吾 菰野分団副分団長▶南川友美 朝上分団副分団長▶増田麻美
- 菰野町消防団長表彰
【表彰徽章】団員▶相馬幹大、川端 琳、土井凌太郎、宮脇貴之、何 源鈞、宮下琢也、船倉悠聖 敬称略

1月 広島県での大会に三重県代表として走る

17日 都道府県対抗駅伝に出場



天皇盃第29回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会に出場する平島 怜さん（八風中3年、田口新田）が町長を訪問しました。三重県中学校駅伝大会での区間賞獲得などを評価され選ばれた平島さんは、目標として「区間20位以上を目指し、順位を下げないように頑張りたい」と語りました。

1月 子どもから大人まで新年を祝って書に励む

6日 第22回新春書き初め大会



▲法被を着て真剣な表情で書に取り組む参加者

新春書き初め大会を体育センターで開催し、子どもから大人まで53人が参加しました。参加者は「真菰」「千草街道」といった菰野町にちなんだ課題や、「かどまつ」「初日の出」など新年にちなんだ課題などを選び、これまでの練習の成果を發揮しようとそれぞれ真剣に取り組んでいました。



入賞した作品は1月9日から19日までの期間、役場本庁1階のロビーに展示しました。

1月 正月の昔ながらの遊びを楽しむ

6日 たこあげ大会を開催



▲元気に走りながら手作りのたこをあげる参加者

たこあげ大会を朝上小学校グラウンドで開催し、101人の子どもが参加しました。参加者は体育館で思い思いのキャラクターや絵柄をマジックなどで書き込んでたこづくりに取り組み、グラウンドでは穏やかな空に向かってさまざまな形をしたカラフルなたこがたくさん舞い上がっていました。

12月 知事と県内市町の首長が対談

27日 知事と市町の円卓対話



▲意見交換を行う知事と町長

見勝之知事が訪れ、県内の市町長と地域課題を協議する「円卓対話」を役場本庁で開催しました。町長は太陽光発電設備の設置に関連した治水対策や湯の山温泉地域の観光振興などを話題にして、約50人の参加者を前に知事との意見交換を行いました。また、町の公共交通施策の説明にあわせて、のりあいタクシーとコミュニティバスの視察も行いました。



1月 2歳～8歳までの子どもたちが競い合う

5日 ランバイクで全国8位に



▲ランバイクにまたがり笑顔で写る萩さん（写真左）と町長

全日本ランバイク選手権で全国8位となった萩千隼さん（4歳、田口新田）が町長を訪問しました。ランバイクとは、ペダルが付いていない二輪車に乗り、地面を蹴ってコースを駆ける競技で、萩さんはランニングバイクチーム「ONE STEPPERS」に所属しています。町長から「競技をされていて怖くないですか。楽しいですか」と問われると、萩さんは「怖くないです。楽しいです」と笑顔で答えました。

12月 宝くじの助成金で整備

16日 切畑公会所を竣工



▲竣工された切畑公会所

宝くじの社会貢献広報事業として宝くじの受託事業収入を財源に実施しているコミュニティ助成事業を活用し、切畑区の公会所が新しくなり、竣工式が開催されました。竣工式で切畑区長の大橋仁視さんは「区民で木を切り出し、柱材にしました。小さな区ではあるが、さらに住みよい集落にしていきたい」と挨拶し、念願であった公会所の竣工を祝いました。



12月 足湯列車として4年ぶりに復活

1月 観光列車つどい「足湯列車」



▲車内で足湯につかりながら電車での旅を楽しむ参加者たち

近鉄名古屋駅～湯の山温泉駅間で観光列車つどい「足湯列車」を運行しました。車内には、町商工会青年部が製作した足湯キットに町の温泉を入れ、全国でも珍しい足湯列車の旅を楽しむことができます。運行初日には多くの報道陣が集まる中、近鉄名古屋駅で出発式を開催し、参加者は車内で菰野の地酒や特産品を味わいながら、景色を車窓から眺めていました。

